

令和7年度 若手研究者活動支援プログラム公募要領

1. 本プログラムの趣旨

亜熱帯島嶼に位置する琉球大学では、日本国内でも特にユニークな環境において、理系文系問わず特色ある基礎研究が展開されています。一方で、本土から離れた環境が研究の発展や交流の制限となることもあります。本プログラムは、様々な分野の若手研究者の主体的な研究力向上の支援、および外部資金獲得能力強化を通して、特色あるフィールドで活動する若手研究者のステップアップを目指します。本プログラムは、「若手基礎研究者」の研究力育成・向上を目的とする、第一三共株式会社の「はばたく次世代」応援寄付プログラムの寄付を受け実施されます。

2. 支援内容

- 研究力向上のための活動資金：上限 80 万円
- 外部資金獲得能力強化支援（外部資金獲得ワークショップ、研究者交流など）

3. 活動資金の想定される使途

- **研究実施経費（研究を実施するための経費）**
物品費、学会・調査に係わる旅費、書籍購入費、施設利用料、論文投稿料など
- **自己強化経費（研究活動を推進・発展させるための経費）**
調査・ネットワーク構築などを目的とした海外渡航費、チームビルディングなどを目的とした勉強会開催費、技術セミナー等参加費・旅費・資格取得費（研究活動上必要な技術等の習得を目的とするものを対象とし、留学・語学研修等は対象外とする）など

4. 支援期間

令和7年4月1日～令和8年2月28日

5. 対象

人文学、社会科学及び自然科学の全分野の基礎研究に従事する若手研究者

6. 採用予定数

10名程度

7. 申請資格

- 本学に所属する研究者
- 令和7年4月1日現在、博士の学位を取得後8年未満の者
※ 申請時には、見込みでもよい
- 本学が定める研究者倫理・研究費公正執行教育を受講していること
- 令和6年度に本プログラムに採択されていない者

8. 採択者の義務等

- 支援期間中および支援後は外部資金へ積極的に応募すること。支援期間中に科研費若手研究や基盤研究の申請資格を有する者は応募を原則とする。
- 支援期間中の外部資金申請時には、アドバイザー制度を利用すること。
※ 支援期間中に外部資金応募予定がない場合は、次回応募時の利用を条件とする。
- 企業からの寄付を原資とする本プログラムでは、利益相反に係わる申告を行うこと。また、製薬企業に係わる活動に関しては事前にURA等に申告すること。
- 本プログラム主催の外部資金獲得のためのワークショップ等に参加すること。
- 本プログラム主催の研究発表・交流会に参加、発表すること。
- 令和8年3月10日までに経費執行報告書および成果報告書を提出すること。

9. 申請方法

以下の書類各1部を指定ファイル形式で各部局の総務担当部署を通じて提出すること。

※ 研究者個人からの直接申請は受理しません。

※ 別紙様式は研究推進課HPからダウンロード可能。

(URL: <https://gspd.skr.u-ryukyu.ac.jp/gakusaibu/kenkyu/>)

- 提出期限：令和6年12月25日（水） 17:00 ※厳守
- 提出書類：計画書（別紙様式1）PDF、経理見積もり（別紙様式）Excel
- 提出方法：各部局の総務担当部署より下記提出先にメールにて提出すること。
総合企画戦略部研究推進課研究推進係

メールアドレス：spru@acs.u-ryukyu.ac.jp

10. 審査基準と選考

選考では、書面およびプレゼンテーションによる計画提案を実施し、次の観点で評価する。

- (ア) 提案する研究の内容や方法のオリジナリティや今後の発展の可能性が示されているか
- (イ) 研究者としてのステップアップが設定されており、次のステップへの課題が示されているか
- (ウ) 経費の使途は課題解決に向けて妥当であり、今後のステップアップに繋がる事が期待できるか
- (エ) 外部資金獲得の意思があり、今後継続して積極的な外部資金に係る応募が期待できるか

各項目の評点の合計により選定するが、①合計点が同程度の場合は、現在の外部資金の獲得状況および過去の応募状況を考慮する。②若手研究者の研究力の底上げの目的のもと、積極的な応募にも関わらず獲得に至っていない研究者を優先する。また、③計画している支出の多くが他の競争的研究費でも対象となる場合(例: 論文投稿料(オープンアクセス出版料を含む)や PC など汎用的な環境整備等)は、優先度を低くする。

11. 研究成果における謝辞の表示

本経費により得た研究成果を発表する場合は、本経費の助成を受けたことを必ず表示すること。 Acknowledgement(謝辞)の記載例は、次のとおり。

【英文】：

This work was supported by Daiichi-Sankyo "Habataku" Support Program for the Next Generation of Researchers and University of the Ryukyus Young Researcher - supporting Program .

【和文】：本研究は第一三共 「はばたく次世代」 応援寄付プログラムおよび琉球大学の若手研究者活動支援プログラムの助成を受けたものです。

12. その他

本プログラムの活動経費の管理は、研究者または所属する研究室ではなく、研究推進課で行います。本プログラムでは、スキルアップのための経費など通常の外部資金研究費よりも幅広い使途が想定されるため、プログラムの主旨・内容を理解した者が集約して対応し、事務的負担を軽減するものとします。